

会 報 <第396号>

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



発行日 平成30年10月 1日

<目 次>

- I 寄 稿 『住宅市街地総合整備事業 加古川駅南西地区』 ……別 冊
加古川市都市計画部市街地整備課
- II 月例会報告 『少子高齢化社会を生き抜くために』 ……2～5頁
(サブテーマ:撮影技術を学んで趣味の範囲を広げてみよう)
講師 寅屋 寿廣氏 大阪成蹊短期大学教授
- 1 はじめに (3)家事の外部化
2 安全・安心のまちづくり (4)家庭支援の必要性
3 ウェルフェアからウェルビーイング (5)家庭で生じている課題
4 現代社会における家族・家庭の内容 (6)少子・高齢化
(1)「近代家族モデル」から「共働きモデルへ」 5 私達にできること
(2)家庭の「養育機能」 6 人生をよりよく生きるために
7 写真撮影の基本
- III 寄 稿 神戸秘話第15回『科学技術で戦後の日本を
再生した男 井深 大』 ……6頁
(一社)兵庫県建築会 会 長 瀬戸本 淳
- IV 寄 稿 ぶらりまち歩き珍百景
『ご存知ですか？東灘区の身近なところに珍名所』 ……7 頁
(株)岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏
- V 花だより ① 萩の寺・明光寺と那須神社 ……5頁
② 萩の花（神戸市北区:神戸市植物園） ……7～8頁
- VI お知らせ 行事案内、事務局だより、広報コーナー ……9～12頁
(兵庫県政 150 周年記念協賛事業、住宅再建共済制度)

今月の花だより：萩の花

神戸市立森林植物園

(神戸市北区山田町)



Ⅱ 第468回(平成30年9月)月例会報告
講演テーマ 『少子高齢化社会を生き抜くために』
(サブテーマ: 撮影技術を学んで趣味の範囲を広げてみよう)

講師 大阪成蹊短期大学 教授 寅屋 壽廣氏

会長挨拶

先日来の大雨や台風の被害は大変なもので、TVなど見てみると滅入ってくるのですが、皆さんは大丈夫でしたか

昨日は、日本一古いゴルフ場の神戸ゴルフ倶楽部でプレーし、約80年前に建設されたヴォーリズ設計にかかるクラブハウスを見学しましたが、メンテもよくできており、窓枠や雨戸のスライド式の工夫には感心いたしました。

さて、本日は寅屋先生のご講演をいただきますが、福祉関係の著書が多数でレジュメからも素晴らしいお話をお聴きできると楽しみにしています。また、写真の腕も立派で、作品のお話を伺っていましたが、後ほどスライドで見せていただくとこれも楽しみにしています。

ご講演よろしくをお願いします。



1 はじめに

本日は、講師としてお招きいただきまして、本当にありがとうございます。

幼児教育を専門としていますが、姫路こどもセンターの所長時代に子ども二人が児童虐待で亡くなる事件がありました。その虐待予防の議論中に専門の知識を得る必要性を感じ、現役時に福祉学部へ編入し、引き続き大学院で修め、退職後は自身で開拓した大阪青山短期大学を経て、現在の大阪成蹊短期大学で教鞭をとっています。

この進路選択は、幼稚園・保育所の先生方が一番保護者に寄り添え、虐待を発見しやすいことから、学生に福祉をしっかりと身につけてもらいたいとの思いからでした。

そのようなことで、一緒に「少子高齢社会を生き抜く」を考えていきたいと思います。

2 福祉とは何か考えてみましょう

「福祉」は、地方自治法では「住民の福祉の向上のために」、憲法では「公共の福祉に反しない限り」とか使われている。「福」は「幸せ(幸福)」で「祉」のほうも「しあわせ」の意味である。つまり、幸せになれる、なるのがこの「福祉」という考え方になる。

病気等になったり生きづらさを感じた時にその課題解決のために、福祉がある。

3 ウェルフェアからウェルビーイングへ

「ウェルフェア」とは、幸福あるいは福祉と訳され、憲法25条の最低限度の生活という従来型のものをいう。

「ウェルビーイング」は、現在の福祉の考え方で、「幸福とか、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的な良好な状態にあること」と定義される。

英語のビーイングであり、現在進行形で自己実現できるまで保障すべきであるという考え方。

4 現代社会における家族・家庭の変容

(1)「近代家族モデル」から「共働きモデル」へ

少子高齢社会になった要因として、高度経済成長期以降の産業構造の変化が挙げられる。第1次産業から、第2次産業、第3次産業への就業人口移動により家族構成が変化し、家業を継がせる後継者の必要性がなくなったことが少子化の一つの要因である。

「近代家族モデル」とは、夫婦家族制をいい、子育てと子どもの独立後は、2人でしっかりと生きていくサイクルを指す。

「共働きモデル」とは、高度経済成長期以降は、男女ともに職歴を継続しながら、夫婦が対等な関係を築き、協力して家族運営にあたる平等主義的共働き家族をいう。このため、家族の養育機能(養ったり、育てたり、高齢者を介護したり)が脆弱化した要因となっている。

(2) 家庭の「養護機能」の脆弱化

人生観、家族観等の変化が進み、核家族、単独世帯、離別家庭、ひとり親家庭、(ステップファミリー)と多様化し、3世代世帯を中心とした時代でなくなってきた。

①世帯構造別にみた世帯数の構成割合の推移

世帯数の構成割合を、1975年と2015年を比較すると

単独世帯 18.2%が26.8%に

夫婦のみの世帯 11.8%が23.6%に上昇、

夫婦と未婚の子のみ（本来の核家族）

42.7%が29.4%に下がった。

子どもの数が少なくなっている現状を表わす数字である。

三世代世帯は、16.9%から6.5%に減少している。

① 世帯構造別にみた世帯数の構成割合の推移

区 分	単独世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	ひとり親と未婚の子のみの世帯	三世代世帯	その他の世帯
1975 年	18.2%	11.8%	42.7%	4.2%	16.9%	6.2%
2001 年	24.1%	20.6%	32.6%	5.7%	10.6%	6.4%
2015 年	26.8%	23.6%	29.4%	7.2%	6.5%	6.5%

核家族世帯

②児童のいる世帯

1975年と2013年の比較で、子どものいる世帯1人～4人以上まで全てに亘り減少し、“子どもがいない”が47.0%から75.9%まで増えている。

2015年の出生動向の基本調査では、理想の子どもの数は2.3人であるが、実際に産んだ子どもの数は1.68人でしかない。

幼児教育を志す学生は、子供が好きで、きょうだいが多いことを痛切に感じている。このような人達をもっと増やし、少子化風潮を変えていきたい。

② 児童のいる世帯

区 分	1 人	2 人	3 人	4 人以上	いない
1975 年	20.0%	24.6%	7.3%	1.1%	47.0%
2001 年	12.2%	12.2%	3.8%	0.5%	71.2%
2013 年	10.9%	10.1%	2.7%	0.4%	75.9%

③結婚・離婚

平成28年では、結婚は62万531組に対し離婚は21万6,798組で、離婚率は34.9%になる。一方で、結婚した62万組のうちの26.4%以上が再婚、子連れの再婚、いわゆるステップファミリーとなっている。

ワーキングプアの人たちが今1,000万人以上と言われ、年代的には男性の20歳代が多い。

また、年収200万円以下の人が2,000万人いる。これも男性の20歳代以下の人が多い。

実際に企業雇用者は5,215万人いるが、非正規者は1,711万人、33.1%である。

④ひとり親家庭

母子世帯が約123.8万世帯、平均の年収が181万円。

父子世帯が、22.3万世帯で、平均年収が360万円。

「相対的貧困」とは、一般的な日本の平均年収は

450万円だが、その半分以上の人をいう。

平成25年度で、一人当たり122万円以下の人であり、母子家庭の54.6%の世帯が相対的貧困である。母子家庭の正規雇用は39.4%でしかない。

一方で、「絶対的貧困」とは、その日の食べるものがない状態のことをいう。

子どもの相対的貧困率は、平成28年の国民生活基礎調査の中で13.9%まで改善した。

国は、この貧困を解消するため法律を作ったが、学力、就業、技術力、知識に劣りがちで、貧困の世代間連鎖を起こしやすい。

(3) 家事の外部化

生活の豊かさに伴い家事の外部化が進んできた。

i 食事 外食産業、コンビニエンスストア等の利用

ii 衣服 親の手造りから既製品の購入へ

iii 教育 塾、家庭教師

iv 介護 外部サービスの利用

生活が便利になり、自由時間が増加したが、家族間での交流時間の減少により、家族の愛情や情緒的つながりを実感する機会も減少した。

「ホテル家族」という言葉がある。家の中で、自分の部屋に閉じ籠り生活し、食事の時だけ食卓に来て、個食と言われる一人ずつばらばらで食べる生活するような時代になってきている。

家族機能の重要性は、癒やし、愛情等の精神的な情緒的な機能であり、これを充実させる必要がある。

(4) 家庭支援の必要性

① 家族機能の弱まり

女性の就労による社会参加が増大し、個人の生き方を尊重する社会になってきている。家事や子育ての外部化により、子どもと向き合うこと自体に不安や負担を感じる人たちが増えてきている。

② 地域の子育て力の低下

家庭が子どもを社会化させる第1の場面ならば、地域は第2の場面である。

地域そのものの中で子どもを育み、社会性を身につけさせてきたが、今はそれがなくなり、学校などの専門機関が第3の社会化の場となっている。近年、地域コミュニティの機能が脆弱化してきた。

③ 就学前児童の昼間の居場所

就学前の子供達の居場所は、幼稚園が20%、保育所が29%、認定こども園が3%。残る48%が家庭で子育てしている。

このため子育て不安を感じやすいので、国が、子育て支援の拠点事業として、子育て広場をつくり、保育所や幼稚園に子育て相談をつくらせている状況である。

(5) 家庭で生じている課題

①児童虐待

児童相談所における児童虐待相談対応件数は、平成2年度の1,101件から、先日の報道では平成29年度で13万3,778件となり、121.5倍の増加である。

ただ、1,101件の数は欧米の発生件数からみて氷山の一角と言われてきたが、現状は、それに近づいてきた感がある。

○児童虐待が起こる背景

経済問題、夫婦関係の不和、親役割（母性）の喪失、家庭の社会的孤立、育てにくい子ども自体の要因など、さまざまな要因が重なって生じる。

○虐待を受けた子どもたちへの影響

虐待を受けた子どもたちは、次のように考える傾向がある。

- ・家庭内のこととして秘密を守ろうとする傾向
- ・親をかばおうとする傾向
- ・自分が悪いから虐待されたと思う傾向
- ・親から「棄てられてしまう」という不安

○虐待的な環境にいる子供達への影響

感情を押し潰され、自由な表現が許されないため、やがて感情を麻痺させ、無表情で無気力、無感動になる。他者に対する関心が持てなくなり、自分の感情をうまく表現できないため、周囲とトラブルを起こしたり、イライラして切れやすい傾向をもつ。

② ドメスティック・バイオレンス（DV）

DVが非常に増えている。配偶者からの暴力で、9割が男性から女性へ。1割が女性から男性へ。

兵庫県内のDV相談が、1年間で1万8,788件あった。

(6) 少子・高齢化

①出生数の推移

※合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性が

① 出生数の推移

区分・年	出生数	合計特殊出生率
1949(S24)	2,696,638人	4.32
1973(S48)	2,091,983人	2.14
2014(H26)	1,003,539人	1.42
2015(H27)	1,005,677人	1.45
2016(H28)	976,978人	1.44
2019(H29)	941,000人	—

1年の間に産む子どもの数

昭和24年の出生数は約270万人で合計特殊出生率は平均4.32人であった。

これが、平成28年には100万人を割ることになる。

第1次ベビーブームは1947年～1949年

第2次ベビーブームは1971年～1974年

ただ、第3次ベビーブームが起らなかったのは、この年代が社会人になる時期が、バブル経済崩壊による就職氷河期で、結婚、出産ができない状況においやられたからである。

②高齢者の推移

昭和25年では、65歳～74歳が309万人、人口の3.7%、74歳以上が107万人で、合計で4.9%だった。

平成28年では合計で3,459万人の27.3%となり、非常に高齢社会になった。

75歳を超えると、病気がちになり、介護が必要になってくる。75歳を超えると5人のうち1人ぐらいが介護が必要になってくる。

② 高齢者の推移

区分・年	65歳～74歳	74歳以上	合計
1950 (S25)	309万人 (3.7%)	107万人 (1.3%)	416万人 (4.9%)
1995 (H7)	1,109万人 (8.8%)	717万人 (5.7%)	1,826万人 (14.5%)
2014 (H26)	1,708万人 (13.4%)	1,592万人 (12.5%)	3,300万人 (26.0%)
2015 (H27)	1,734万人 (13.6%)	1,613万人 (12.7%)	3,347万人 (26.3%)
2016 (H28)	1,768万人 (13.9%)	1,691万人 (13.3%)	3,459万人 (27.3%)

5 私たちにできること

私たちが、もっと元気にしっかりとやっていこうということが非常に大事になってくる。地域の中での子育て相談等に乗るなど是非やっていただきたい。

6 人生をよりよく生きるために

○知力、体力、気力をみがく

皆さん方は、お仕事をお持ちですので多分大丈夫だと思います。新聞をよく読むことで知力をつけて、これからもちゃんとそれに対応できるようにすること。ぜひ散歩をしてください。思いっきり歩くということが非常に大事です。これで体力をつけていただいて、これからも生きていくぞという気力をつけてください。

○「まごわやさしい」

これは、豆・ゴマ・ワカメ・野菜・魚・シイタケ・芋、の頭文字。これをしっかりと食べると健康で長生きができると言われています。

○「かきくけこ」人生

老後を生き抜くために、「か」は、何事もまず人生そのものについて関心を持つことが非常に大

事になります。「き」は「気にかける」、「く」は「工夫する」、「け」は「研究心を持って研究する」、「こ」は「恋心をいつまでも持ちましょう」——恋心を持つことによって、相手からよく見てもらいたいから、髪をといだり、女性の場合は化粧をしたり、場に合った服を着たりという形で絶えず相手を気にしながら生活をしていくことになります。

○「あいうえお」人生

関西弁で、「あきらめません」「いつまでも」「うるせえなあ」「ええかげんにせい」「お迎えは要らん」という、そんなふうな生き方をさせていただきたいと思います。

○「きょういく」と「きょうよう」

「きょういく」というのは「きょう、行くところがある」、「きょうよう」は「きょう、せんならんようじがある」

これを絶えず持っている则ちちゃんと人生をよりよく生きることができるとなります。

7「写真撮影の基本」は、来月の397号でお届けします。

月例会会場風景



V ①花だより：萩の寺・明光寺と那須与一 (神戸市須磨区妙法寺字岡)

◎ 萩の寺・明光寺

今月の花だよりに萩の花をお届けしようと、「萩の寺」で有名な須磨の「明光寺」を訪れました。

以前はよく通っていた道でしたが、あまり明光寺には気が付きませんでした。駐車に苦労しながら写真の参道を登っていったのですが、生憎まだ開花に至らずで、ここでの撮影は断念しました。

しかし、意外な(地元では有名)歴史的な人物の縁の神社があることを始めて知りました。

《明光寺案内》

<http://www.suma-kankokyokai.gr.jp/modules/gnavi/index.php?lid=42&cid=12>



北向八幡宮と那須神社

明光寺に登る手前に同じ境内に二社が建立されています。

北向八幡宮には、「一の谷の合戦時、源義経は御神威が高く飛ぶ鳥でさえ社殿の上空を飛べない社があると村人から聞き、那須与一に武運長久の代理参拝を命じた。与一は、自分の守護神としても崇め、戦乱の後にお礼参りに訪れるが、中風の病のため当地で没した。道を挟んで西向に墓所がある。」と紹介されています。

那須神社は大正10年に建立されたようです。

墓所には、命日の毎月7日は多くの参拝者が訪れ、毎年10月第二日曜日には例大祭が斉行され、近隣の町会と連合して祭典が行われるようです。

神戸と平氏、源氏とは様々な結びつきがあります。

北向八幡宮



那須神社

那須与一の墓所：神社と道路を挟んだ西側にある。



Ⅲ 寄稿 神戸秘話第15回
『科学技術で戦後の日本を
再生した男 井深 大』
会 長 瀬戸本 淳

私が神戸高校在学中、先輩による講義で特に印象に残っているのが井深大氏だ。神戸高校の前身の神戸一中を昭和2年（1927）に卒業しており、当時の高山忠雄校長の5つ下の後輩なので気軽に来て下さったのだろうが、すでにトランジスタラジオやトランジスタテレビのみならず、家庭用白黒ビデオテープレコーダーを発表した頃で、社長として「世界のソニー」を牽引していた。56歳ぐらいだったが、背が高く精悍で、髪も黒かった。上品な紳士というイメージだったが実に熱い人で、眼鏡の奥の眼差しには愛と光が見えた。その存在感に圧倒されてか、大切なことを教えてもらったはずなのに記憶にない。

その24年後、ハワイ・オアフ島のゴルフ場で、楽しそうにプレーする井深氏と出会った。89歳で亡くなる10年前のことで、ひと言でも講演のお礼を言えばよかったと後悔している。

井深大氏は明治41年（1908）、栃木の日光で井深甫の長男として生誕した。甫は新渡戸稲造門下生の優秀な技術者で、日本最古の水力発電所のひとつと伝えられる静岡の発電所を設計した人物だという。しかし、幼くして父を失い、祖父の基が父親代わりだった。井深家は保科家（後の会津松平家）家老の重光から続く一族で会津藩に代々仕え、基は戊辰戦争のとき朱雀隊の一員として奮戦し生き残ったが、白虎隊にいた弟の石山（井深）茂太郎は飯盛山で自決している。

そして小学5年生の時、母親が再婚したため神戸へ。諏訪山小学校へ入学した。ここは神戸一中を目指す予備校のような学校で、スパルタ教育に耐えて神戸一中へ合格した際の喜びはひとしおだったという。神戸一中では俳優の山村聰と同期。2年生まではテニス、3年生になると無線の組み立てなど機械いじりに夢中で成績は急降下。5年生の時に無線をやめると上昇したが、色弱のため官立高校へは進学できず、第一早稲田高等学院を経て早稲田大学理工学部電気工学科へ。在学中から後にパリ万博で金賞を受賞する「光るネオン」を開発するなど才能を発揮した。ところが就活で東京芝浦電気（現在の東芝）の入社試験を受けたものの不採用。もし入社していたらソニーはなかっただろう。東芝もどうなっただろうか。

卒業後は写真化学研究所に入社。その後日本光音工業に移籍し、軍需電子機器の開発に従事したが、戦時技術研究の技術者交流で海軍技術中尉だ

った盛田昭夫氏と運命的な出会いを果たす。

そして迎えた敗戦。「日本は科学技術で負けたのだ。科学技術で日本を立て直すしかない」と決意し、神戸一中の先輩の支援を受け百貨店の配電盤室で東京通信研究所を設立。後に盛田氏も加わって東京通信工業として会社化し、テープレコーダーやポータブルトランジスタラジオなどのヒットを連発、昭和33年（1958）に「ソニー」となっただけでなく、「ウォークマン®」「トリニトロン」など多くの革新的な製品を世に送り出した。

優秀な技術者であり起業家であった井深氏だが、教育者でもあり、社会貢献にも熱心だった。そしてその背景に、一人の女性が浮かび上がってくる。そのお話は次回に。

※敬称略

※日経 Biz アカデミー「私の履歴書」、「会津への夢街道」ホームページなどを参考にしました。



写真提供/ソニー株式会社

井深 大（いぶか まさる）
技術者・ソニー創業者

1908年、栃木県日光生まれ。神戸一中（現・神戸高校）卒業後、早稲田大学理工学部電気工学科へ。在学中から科学技術者としての優秀さと独創性を顕した。卒業後、日本光音工業で軍需電子機器の開発に従事、後にソニーをともに創設する盛田昭夫中尉と出会う。敗戦後、東京通信研究所を設立。1946年、盛田氏とともに東京通信工業（1958年に「ソニー」に社名変更）として会社化。既存技術にとらわれることなく、独自の研究・開発努力によって新たな製品や市場をも創造していくという会社設立以来の経営姿勢で、日本初、世界初の商品を次々と世に送り出した。教育問題にも高い関心を寄せ、1969年に「財団法人幼児開発協会」、1972年に「財団法人ソニー教育振興財団」を設立、理事長を務めた。また、幼児教育や東洋医学、特に脈診の研究などにも力を注いだ。『幼稚園では遅すぎる』『0歳』『胎児は天才だ』ほか、著書多数。

《月刊神戸っ子平成2018年2月号より転載しました。》

Ⅳ 寄稿 ぶらりまち歩き珍百景

『ご存知ですか？

東灘区の身近なところに珍名所』

㈱岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏

平成最悪の水害と報道された、「平成 30 年 7 月豪雨」。その日を遡ること丁度 80 年前に神戸市では阪神大水害が発生している。715 名が亡くなる大惨事であったが、現在の東灘区（神戸市には当時未加入の住吉村）が甚大な被害を受けたので住吉学園の構内には、当時流されてきた 30 トンの岩の表面に「禍福無門の碑」と刻まれて保存されている。その被災状況を視察した当時の内務大臣が揮毫したものである。

「禍福無門の碑」

これは、「悪いことも良いことも特別な門から入ってくるのではなく人が招くもの。人の心がけで災いにも幸福にもなり得るのだから、日々の行動は熟慮の上に行い、また反省することを怠ってはならない。」という意味。

水害を例にすると、山の木々を伐採して、はげ山にすれば水害が起こるし、逆に山を水源林として守れば水に困らず豊かに暮らせると、禍福の原因は自らの行いにあるということ。この教えは現代も生きている。



この碑のとなりにはなぜか水車の原寸大模型が仲良く並べられているが・・・



「水車小屋」

これは住吉川に限った事ではないが、東灘区の河川は六甲山系の水量と高低差を利用した水車が数多くあり、17 世紀から菜種油から灘の酒の原料になった米までいろんな穀物の粉引きをしていたようである。晩年の住吉川においては、夏は素麺、冬は線香作りに活躍したという。

住吉川にも約 80 箇所、1 万器の石臼が備えられ粉を引いていた。しかし、先述ほど甚大でなくても度々起こった水害や動力近代化で、水車小屋は 1 棟も住吉川には現存しない。

小生が小 3 の頃、「神戸市」について社会科で学ぶため（小 4 で「兵庫県」、現役稼動する「最後の一棟」を地域史見学の一環として見に行った憶えがある。（昭和 54 年火災で焼失）

住吉川のダンプ専用道の終点、白鶴美術館東向かいであったことを憶えている。ほぼこの位置に、水車小屋を模倣したような和風の公衆便所が存在し、昔日の思い出を語りかけている。

V ②花だより：萩の花

（神戸市立森林植物園 神戸市北区山田町）

◎ 神戸森林植物園

4 頁で既報のようなことで、困ったときの神戸森林植物園ということで、9 月 17 日に開花状況を確認して改めて出かけてきました。

ご承知のとおり、萩は細い枝に小さな花を咲かせ、派手さはありませんが、うす紫の花が群生すると見ごたえがあります。森林植物園では園の北側に萩一色の散策路“萩の小径”があり、散策しながらの鑑賞が楽しめます。



◎ 秋の七草

萩は秋の七草の一つですが、春の七草と違ってなかなか口調では覚え難いですね。この所以は万葉集に収められた山上億良の歌からで、「おみなえ

し」「すすき」「ききょう」「なでしこ」「ふじばかま」「くず」「はぎ」の頭文字から「おすきなふくは」と覚えるようです。

山上億良（万葉集巻8）

『萩の花 尾花葛花 なでしこの花 女郎花また
藤袴朝顔の花』（園内紹介板より）

園内では、女郎花（おみなえし）尾花（すすき）しか見つけられませんでした。「秋の草花」と表示されたコースがことごとく大雨、台風の影響で通行止めされていたことも影響していますが、やはり開花時期に幅があるので一同に見られるのは難しいかもしれません。



オミナエシ



◎ 秋 色

園内のナナカマドの実も橙色に染まり一足早く秋めいていました。

傍らにある説明板には「西洋では聖なる木として材から十字架を作り出す。大変燃えにくく七度カマド（竈）に入れても燃えにくいという意味」と説明がありました。

ただし、異説があり「ナナカマドの薪はよく燃える」といった記述もあるようです。



左 ナナカマド



下 長谷池
：夏の名残のスイレンを浮かべ水面の色合も深みを増して、ここでも秋の気配が漂っていました。

左 ナンバンギセル

：七草とは関係ありませんが草むらで見かけた少しユニークな花でしたので、撮って後で植物園事務所で名前を確認しました。寄生植物で、イネ、ススキ、サトウキビに寄生して寄主の根から吸収した栄養分に依存して生育する。このため、寄主の成長は阻害され死に至ることもあるようです。

とすれば、ススキが庭などに繁殖すると手が付けられなくなるので、その退治の活用もありそうです。

VI お知らせ

◎ 行事案内

○ 第469回月例会

日 時 平成30年10月11日(木) 12時～
会 場 神戸三宮東急REIホテル
テーマ 『日本人の感性と箱庭に現れる空間的
形式について～アイデンティティの表
明としての建築～』
講 師 明石工業高等専門学校
名誉教授 坂戸 章三氏

建築は、個人的及び集団的アイデンティティの
表明といえますが、箱庭の製作により分かる日本
人の感受性、情緒的性質等を通じ、日本の建築や景
観についての講演をいただきます。

○ 第157回研修交流会

日程 平成30年10月18日(木)
会場 城山ゴルフ倶楽部
スタート 9:03～ 4組

以上、ご案内中です。ご参加をお願いします。

○ 第470回月例会

日 時 平成30年11月15日(木) 14時～
会 場 兵庫津歴史館 岡方倶楽部
テーマ 兵庫県政150周年協賛事業
『兵庫津の歴史を考える』
講 師 ①カリスマガイド 高松 良和氏
②高田屋嘉兵衛翁顕彰会相談役
高田 耕作氏

詳細は10、11頁の案内を参照ください。
なお、好評につき申し込みは締め切りをし
ました。ご協力をありがとうございました。

<平成31年の予定>

○ 新春会員交流会

日 時 平成31年1月10日(木) 18時～
会 場 神戸三宮東急REIホテル

○ 第471回月例会

日 時 平成31年2月7日(木) 12時～
会 場 西村屋和味旬彩
テーマ 健康マイプラン「食の安全(仮題)」
講 師 河野 武平氏

○ 第472回月例会

日 時 平成31年3月7日(木) 12時～
会 場 神戸三宮東急REIホテル
テーマ 音楽と神戸
講 師 宮本 慶子氏

◎ 事務局だより

○ 前号で、20号をその進路から第2室戸台
風を思い出すと言っていましたら、21号はさ
にその軌跡を追ってきました。

第2室戸のその後の対策で高潮による一般住
宅への被害は少なかったようですが、関空は大
変なことになりました。元々、建設中から軟弱
地盤で沈下がひどく工事が難航してしまっ
たが、予測を上回る高潮だったのでしょうか。

滑走路や地下設備の被害もありますが、連絡
橋は想定外の外的要因からでした。工事がブ
ロック単位で施工されていたのが幸いですが、
それでも補修には半年以上はかかることにな
りそうです。暫くは片側通行で不自由しそう
です。

ここで注目は神戸ですね。まずは閉じ込め
られた旅行客の脱出に神戸ー関空のベイシャ
トルが使われましたが、船の利便性を訴える
いい機会です。私は元々船派でしたが、北
区からは車で行って無料で置いて、が非常
に便利と思っています。それと、神戸空港
念願の海外便です。様々のリスク対応もあ
り、三空港一体利用の中で、神戸にも機能
分担があつてしかるべきと考えます。イン
バウンドの経済効果は今や無くてはならな
いものですから。

そうこうしている内に、24号が鋭く曲が
って今度は完璧な列島縦断の体勢に入りました。
用心をいたしましょう。



花だよりに書きましたが、植物園でも大木が
風の被害で根こそぎ倒れていました。大阪、阪
神間は大変でしたが、電柱の倒壊はもちろん停
電に繋がります。そのための準備は怠りなく。

○ 11月例会は県政150周年協賛事業と併
催ですが、お陰様で予定の入場者数を大きく超
えるところとなっています。後は運営面に気を
付けていくことになります。この面でもご協
力をよろしくお願いします。

事務局 : 谷 純夫、石井滝実子
電 話 : 078-996-2851
FAX : 078-996-2852
Email : archit-k@axel.ocn.ne.jp

広報コーナー：兵庫県政 150 周年協賛事業

平成30年、兵庫県は成立150周年を迎えます。この節目にあたり、ふるさと兵庫を再認識し、新たな兵庫づくりを考える機会とするため、当該事業を実施します。

兵庫津カリスマガイドと高田屋嘉兵衛翁親族の子弟による

講演会『兵庫津の歴史を語る』

★ 講演会の概要

1868年に兵庫県が兵庫津に開設され、
本年7月12日（新暦）には150周年を迎えました。

この兵庫津は、古来より大輪田泊と称して、水運の拠点として繁栄し、平清盛が日宋貿易の拠点として、また、江戸の末期には開港場として外国貿易の拠点として整備が進められてきました。日本海から瀬戸内にまたがる大県兵庫の

成立経緯として、この兵庫津・神戸港の存在が重要な位置を占めています。

兵庫県150周年を迎えるに当たり、意外と知られていない兵庫県にとっての兵庫津の歴史的な意義を知る機会としていただきたく講演会を開催いたします。

お申込は締め切りさせていただきました。
ご協力ありがとうございました。



★ 開催日時

平成30年**11月15日**（木）14時～16時30分（開場 13時00分）

★ 開催場所

神戸市兵庫区本町2丁目3番46地上 **兵庫津歴史館 岡方倶楽部**

※ 会場へは裏面の案内図をご参照ください。

<兵庫城に初代兵庫県庁が設置されました。>

★ 講演内容

1 活動報告 **「兵庫津諸事業の活動報告」** よみがえる兵庫津連絡協議会会長 高田 誠司氏

2 講演

(1) **「兵庫津歴史探訪」** 講師 よみがえる兵庫津連絡協議会カリスマガイド 高松 良和氏
(講演趣旨) 1300年の港町の歴史—たびたびの興亡を経て、時代ごとの国内有数の港、一時期の城下町から現在の街並みへの変遷をお話します。

(2) **「高田屋嘉兵衛と兵庫津」** 講師 高田屋嘉兵衛翁顕彰会 相談役 高田 耕作氏
(講演趣旨) 淡路島の都志村から出奔した嘉兵衛が、兵庫津を拠点として北前船を駆り、蝦夷、千島を舞台に活躍する波乱の生涯と意義を、嘉兵衛の親族の子孫が熱く語ります。

3 見学 「兵庫津」の地図（裏面の略図）を参照のうえ、個別に見学してください。
なお、講演の受講決定者には別途詳細地図をお送りします。

★ 主催者等

主催：一般社団法人兵庫県建築会 （神戸市西区美賀多台1丁目1-2 ☎078-996-2851）

共催：兵庫県建築設計監理協会

後援：よみがえる兵庫津連絡協議会、（公財）兵庫県芸術文化協会、（一社）兵庫県建設業協会、（公社）兵庫県建築士会、（一社）兵庫県建築士事務所協会、（公社）日本建築家協会近畿支部兵庫地域会

★ 募集人数

80人(申込順) 参加料 無料

★ 申込期日

平成30年9月28日（金）

★ お申込み

裏面のファックス申込用紙によりお申込み下さい。
後日、受講票をお送りします。

<会場の岡方倶楽部>



★ 日本遺産の認定等

① 北前船寄港地「兵庫津」として日本遺産に追加認定されました。(平成 30 年 5 月 24 日)

② 会場となる『旧岡方倶楽部・小物屋会館』を登録有形文化財とするよう国の文化審議会の答申がありました。(平成 30 年 7 月 20 日)

建築概要 : 鉄筋コンクリート造 3 階建の洋風集会所、建築面積 180.2 m²、延床面積 529.75 m²

建設年次 : 昭和 2 年 4 月

設 計 : 高木吉三郎

(神戸市資産活用課資料より)

会場等案内

★ 会場へのアクセス

(会場所在地)

神戸市兵庫区本町 2 丁目 3 番 4 6 地上

兵庫津歴史館 岡方倶楽部

会場は右の略図のとおり、上部の●です。受講が確定された方には、後日詳細な兵庫津一帯の案内地図をお送りします。

(ご注意)

① 神戸市営地下鉄海岸線「中央市場前」下車、北西に徒歩約 10 分。本町公園前。

② 地図内の点線は会場へのルートではありません。

③ 会場には駐車場がありませんので、お車でお越しの方は、周辺の有料駐車場をご利用ください。

この案内図は神戸県民センター兵庫津ウォークマップより転載しました。



《申込方法》 この用紙に必要事項を記入しファックスによりお申し込みください。

FAX 番号 078-996-2852

(一社) 兵庫県建築会 宛

講演会『兵庫津の歴史を語る』の参加を申し込みます。

(ふりがな) 氏 名			
住 所	〒		
電 話		FAX	
メールアドレス			

※ お問い合わせ：兵庫県建築会事務局 ☎ 078-996-2851 E-mail archit-k@axel.ocn.ne.jp



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 70%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら
豪雨による災害が発生したら

自然災害から暮らしを守るために



フェニックス
セボーター
はばタン

**小さな負担で
大きな安心！**

月換算 **500円** (2年目～ **417円**) の掛金で、
最大 600万円 の給付

兵庫県が
実施する

フェニックス共済

- 地震、津波、風水害、豪雪、竜巻などあらゆる自然災害が対象です。
- 他の地震保険や共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。
- 住宅の築年数や構造などに関係なく、定額負担で定額給付です。

(兵庫県住宅再建共済制度)

住宅再建共済制度 年額 5,000円 で 最大600万円給付!	一部損壊特約 年額 500円 で 損壊時等に 25万円給付!	家財再建共済制度 年額 1,500円 で 住宅とセット 加入の場合 年額 1,000円 で 最大50万円給付!
--	--	--

【被害の程度と給付金額】被害認定は、住宅の所在する市町が発行する「防災証明書」によります。

住宅の被害認定(被害割合)	建築・購入した場合	相続した場合	建築・購入、相続しない場合
全壊 (50%以上)	600万円	200万円	10万円
大規模半壊 (40%以上50%未満)		100万円	
半壊 (20%以上40%未満)		50万円	
特約 一部損壊 (10%以上20%未満)	25万円		10万円

お問い合わせ・お申し込みは、ホームページ または コールセンターまで！



兵庫県
(復興支援課)



公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金
 コールセンター
 ☎ 078-362-9400 (平日9:00～17:00)
 FAX 078-362-4082 フェニックス共済

あわせて備えて、もっと安心!

**フェニックス
共済** + **地震保険や
他の共済**

例 地震により住宅が全壊!
 火災保険契約額 1,800万円
 再建資金 1,800万円の場合

